ふれ合う　認め合う　共に学ぶ　笑顔あふれる瀬戸ケ谷小学校

瀬戸小だより

令和８年10月30日
横浜市立瀬戸ケ谷小学校
11 月号

http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/setogaya/

スポーツフェスティバルを終えて

副校長　岩﨑 佳奈

10 月の初旬から季節外れの台風のため、雨で外練習ができないことが多くあり、当初の予定を変更しながら練習を続けてきました。スポーツフェスティバル当日に向けても、台風30号の進路や気象予報に一喜一憂しながらさまざまな計画を考える必要がありました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、どうなるのだろうとご心配されたことと思います。学校からの急なお知らせに対しても、温かく受け止めてくださり、ご協力いただきましたことに御礼申し上げます。

10 月の学校はまさにスポーツフェスティバル一色で、自分たちの競技や演技の練習はもちろんのこと、5・6年生は休み時間や木曜日の 6 時間目に係活動を行っていました。朝の時間にも応援団が各クラスに行って応援の仕方を教えるなど、分刻みの忙しさで休む暇なく活動をしていました。そうやってさまざまな役割ごとに、事前に計画や準備をしたからこそ全校のみんなが自分の力を出し、しっかりと頑張ることのできる一日になったのだと思います。

自分が小学生のときも、高学年になって運動会のための仕事をしたときに「こんなにたくさんの仕事があるんだ。今まで知らなかった。」と強く感じました。用具係として、「素早く、確実に」と校庭をたくさん走り、体はくたくたでしたが、同時に充実した気持ちを感じられたことをよく覚えています。

また、練習では 5 年生に分かるように言葉や動きで、ソーラン節を伝える6年生の姿、そして 6 年生に教えてもらったことを何度も練習し、当日演技を見る4年生にも「伝えたい」という思いをもって練習に取り組む5年生の姿がありました。高学年の子どもたちが、思いをもって頑張る姿があり、それを間近で見たことは、下級生の子どもたちにとって何よりも財産になったのだろうと思います。

一日延期した25日（日）は、途中一時的な降雨がありましたが、事前にご準備いただいた袋に防災頭巾を入れ、椅子の代わりとしたことで、教室への一時的な避難も速やかに行うことができました。
ご覧いただいた通り、子どもたちはこれまで練習してきた成果をそれぞれしっかりと発揮できていたように思います。チームや学年を応援する姿、高学年のまねをして応援席でソーラン節を踊る下級生の姿、係活動で責任をもってスポーツフェスティバルを作り上げる姿。個々の出番だけでなく、さまざまな場所で子どもたちのがんばりや成長、たてわり活動やペア学年のつながりなどを見ていただけたのではないかと思います。

練習から見てきた私も、本番の姿にとても感動しました。「やり遂げる」ことの素晴らしさを子どもたちの姿から改めて感じることができました。目標に向かってがんばったこと、できるようになったこと、みんなと力を合わせたこと、友達の良さを再発見したこと、うまくいかなくて悔しかったことなどたくさんの経験や思いをこれからの学校生活の中で今後も積み重ねていってほしいなと思います。

重ねてになりますが、スポーツフェスティバルに向けて、そして当日も子どもたちに温かい声援を送っていただき、また職員にも温かなお言葉でねぎらっていただきましたこと、心より御礼申し上げます。今後もさまざまな場面で、保護者の皆様や地域の皆様と共に、地域の宝物の子どもたちを育ててまいります。どうぞ変わらぬご支援ご協力をいただきますようお願いいたします。